

1 わたしたち 都城のかわとまちづくり

2015年08月発行

都城かわまちづくりニュースレター

①「都城かわまちづくり合同検討会」を開催しました！



合同検討会当日の様子

都城市と国土交通省では、大淀川の川の駅付近を日常的に川を楽しめる場に、まちの持っている様々な資源ともつないで地域の魅力を高めて行こうと、地元のみなさんにも関わっていただき、昨年度から「都城かわまちづくり」の会議を開催しています。

8月3日、去年立ち上げた「都城かわまちづくり検討会」に加えて、検討会が策定した計画の実践組織となる「都城かわまちづくり実行委員会(仮称)」が新たに組織され、この日、両会の委員が一堂に会しての顔合わせを行いました。

検討会から新しい委員に「都城かわまちづくり」に込めた思いが伝えられ、計画を、具体的な利活用と維持管理を踏まえた次のステージへ進化させるスタートの会議となりました。



委員長は南九大の平岡先生

②「かわまちづくり」って何ですか？

正確には、「かわまちづくり支援制度」と言い、平成21年度から国土交通省がはじめたものです。

川を拠点に、地域の持っている資源(歴史遺産やすばらしい景観、文化財等)をネットワーク化し、「まち」と「河川」が一体となった良好な水辺空間を創り出すことを目指しています。

国の事業ではありますが、水辺にカフェを作って営業したりと、これまでにない自由な水辺の使い方が認められるようになりました。

一方、計画づくりから利活用、維持管理まで、地元が主体となった活動であることが求められます。



京橋川(広島市)



小野川(千葉県香取市)

他の河川の事例。カフェや、観光渡船なども展開されています



「この「かわまちづくり」の取り組みや、川を使った遊び、地域を活性化する活動等にご興味のある方は、お気軽に下記問い合わせ先までご連絡下さい。

近々の予定として、9月までに川の駅で、第2回目の実行委員会(仮称)を行う予定です。

検討会で作った計画をベースに、どのように川の駅とその周辺を活用して行くのか、具体的なアイデアを出して行きます。

今後の予定



かなり暑い日でしたが・・・

暑い最中の見学になりましたが、目の前に川を見ながら考えることで、そこを利用するための具体的なアイデアがたくさん浮かんできたようです。

「もっと川に近づきやすいといい。」「ここから電車の駅まで、行きやすくできないかな...。」「

合同検討会の後は、用意したバスに乗り込んで、実際の川の駅付近の様子を見に行きました。

バスから降りて、草を踏み分けながら進むと、大淀川は涼しげに流れていました。水遊びしている近所の子供たちも。



川は涼しげ。水遊びの子供たちも

③夏ノ暑サニモ負ケズ 現地見学も同時開催